京城日報
朝刊
本日朝夕刊共六頁

各部隊長略歴

大柿正一部隊長

大柿正一部隊長は栃木縣下都賀郡國分寺村川中子一の出身、陸士卒、のち滿洲派遣部隊附、昭和七年上海上陸各地の戰鬪に參加、同十四年八月現地部隊長となる

島田豐作戰車隊長

島田豐作戰車隊長は群馬縣邑樂郡長柄村狸塚二四四の出身、陸士卒、滿洲派遣部隊附を經て戰車隊長となる

野口剛一戰車隊長

野口剛一戰車隊長は津市大字下部田中茶屋町二〇の出身、東京陸軍幼年學校を經て陸士卒、滿洲派遣部隊附、のち陸軍戰車學校教官を勤め戰車隊長となる

渡邊定信小兵長

渡邊定信小兵長は福島縣伊達郡小國村上小國字美保四一の出身、陸士卒、戰車隊附となる

【社說】海軍の大戰果

一

皇國海軍は又してもソロモン海戰に大偉功を樹てた。その恐るべき攻擊精神、その驚歎すべき戰技の程は、世界戰史の上に、世を驚倒する偉蹟である。敵も味方も、叩頭して拜すべき、人類史上の壯なる戰功である。

二

去る七日、ソロモン群島方面に敵中のわが海軍は、同水域を北上する有力なる米英聯合艦隊を發見、直ちに殲滅の火蓋を切つた。驅逐、巡洋、文字通りの鬪當り戰法に敵を壓する中、俊敏なるわが艦隊は、夜を利して敵を捕捉、日本海々戰以來の一大夜戰を展開した。祖國を離れて三千浬大膽極まる海の白兵戰である。その自信、この氣魄、まさに神の境地と申すより外はない。

九日までに判明せる戰果は、戰艦、巡洋艦をはじめ、各種艦船合せて廿八隻以上、飛行機廿二機以上、全くその神業は、譬へるに言葉もない。

三

開戰劈頭のハワイ大海戰以來、マレー沖、ジャバ沖、バリ島沖、ペタビヤ沖、珊瑚海等、世界を震撼せしめた大海戰をはじめとして主なる海戰實に廿八回、その度毎に戰果を重ねて今日までに擊沈破、拿捕せる敵艦艇、船舶實に千九百隻、敵航空機二千六百餘機。この數は總て、陸軍の戰果を除外する海軍のみの大戰果である。我々は銃後における行ひをこの大戰果に問うて見よう。全く勿體ない限りである。

血迷ふ英國

一

印度の聖雄ガンヂー翁が、ネール、アザツト兩氏等とともに英國のため逮捕監禁された。米英の硬顏振、人道とはそんなものか？。世界はもう一度改めて、米英の正體を突止めねばならない。

二

英國が印度の侵略を本格化したのは實に三百四十二年前西暦一六〇〇年、印度に東印度會社を設立したのに始まる。爾來蒙古帝國、緬甸王國をはじめ多くの土人國を滅して、東亞最大の英國奴隷圈が出現したのである。六十五年前、既ち一八七七年、印度は英國皇帝の直轄地とされた。暴力に依る英印合體である。利害悉く相反し、印度民衆は三百五十年間英に終始して來た。

それに對する英國の迫害は彼等自身が認めてゐるやうに人類史上の大惡である。世界一持てる印度に年々數十萬の餓死者が横はり、その反面、支配者英國は、その富と榮華とによつて、世界一の贅澤を盡して來たのだ。しかも、これを呪ふ者には機關銃、大砲の洗禮が待つてゐるといふ、實に徹底した大惡である。

三

印度國民會議派の英勢力撤退決議は、この大惡から脫れんとする人間としての本能的な心構である。血迷つた英國はこの人間の本能をさへ鎭壓しつゝある。正に人類共同の敵として葬り去るべきは英國である。印度民衆よ起て！全世界の正しい眼が卿等を同情して看護つてゐる。しかも滅亡に瀕する英國に對し、卿等の祖國印度には早くも亞細亞復興の黎明がさしそめてゐるではないか。

マレー作戰部隊に重なる光榮
感狀、上聞に達す
偉勳燦たり　大柿部隊及び島田、野口戰車隊

【東京電話】マレー攻略戰の精華として偉功を稱へられる大柿部隊ならびに島田、野口兩戰車隊に對しさきに山下マレー方面最高指揮官より感狀を授與されたが、今般畏くも上聞に達せられた旨十日陸軍省から發表された、松井、牟田口兩部隊についでマレー戰線參加部隊に重なる有難き光榮である、大柿部隊は岩畔追擊隊の戰鬪部隊としてシンパンゼーラム附近の擊滅戰に、またバクリの大包圍殲滅戰に常に優勢な敵に立向ひ死傷者續出凄烈を極める白兵戰鬪の中で毅然とし部隊團結の精華を發揮して敵殲滅の偉功を樹て、また島田、野口兩戰車隊は挺身鐵牛部隊として熾烈な敵砲火を冒し地雷地帶を突破、敢然敵陣地に深く突入しトロラクにスリムに大戰果をあげたが、なかにも渡邊尖兵長の如きは雨と降る敵彈の中をしばしば戰車外に出て橋梁の爆破裝置を除去するなどその勇猛な戰鬪ぶりは全く鬼神をも避けしめるものがある

陸軍省發表（八月十日）マレー作戰において赫々たる偉勳を樹てたる大柿部隊ならびに島田、野口兩戰車隊に對しさきに山下マレー方面最高指揮官より感狀を授與せられしが、今般畏くも上聞に達せられたり

感狀　大柿部隊

右は大柿部隊長指揮のもとに西村兵團のマレー西海岸追擊戰鬪に參加するや、一月十五日岩畔追擊隊の戰鬪部隊として敵を急追しムア河口附近を扼せる優勢なる敵に對し困難なる敵前渡河ののち敵を背後より奇襲攻擊してこれを殲滅し、次いでバクリ附近の敵陣地攻擊にあたりては海岸道方面より迂回して十九日未明敵主力の退路を遮斷し、これを背後より奇襲するや戰車を伴ふ優勢なる敵の四面よりする逆襲を受け、部隊長以下幹部の過半を失ひ死傷續出、戰況慘烈を極むるも妹尾隊長代りて部隊を指揮し毅然として敵の退路を遮斷し正面よりする主力の猛攻と相俟つて遂に敵約一個旅團を殲滅せり

叙上の行動は部隊長を核心とする部隊團結の精華を遺憾なく發揮したるものといふべくその功績は眞に拔群なりと認む、仍つて茲に感狀を附與す

昭和十七年二月十五日
マレー方面最高指揮官　山下奉文

感狀　島田戰車隊　野口戰車隊

右はマレー作戰中松井兵團のカンパル附近よりの追擊戰鬪において安藤部隊に配屬せられ、島田部隊長統一指揮のもとにトロラク附近の敵陣地を攻擊するや、歩、工兵と密接なる協同のもとに一月七日午前五時熾烈なる敵砲火を冒し敢然敵陣地に突入し、道路兩側の敵に致命的打擊を與へたるのち、さらに戰車獨力をもつてスリム附近に突進し、渡邊尖兵長の如きは敵彈雨中の中にしばしば車外に出で敵の爆破裝置を除去し、あるひは敵司令部、砲兵陣地を蹂躙して七日正午頃までに縱深二十キロにわたる地域において敵約二個旅團を捕捉殲滅せしむるの動機を與へ、またよく敵中に孤立行動して數箇の重要橋梁を確保しもつて兵團爾後の作戰を有利ならしめたる功績は眞に拔群なるものと認む、仍つて茲に感狀を附與す

昭和十七年二月十五日
マレー方面最高指揮官　山下奉文

數倍の敵と交戰
猛攻遂に擊滅す
大柿部隊、兩戰鬪概要

【東京電話】大柿部隊はシンガポール攻略戰に參加、マラツカ海峽沿岸地方のシンパンゼーラム及びバクリの兩戰鬪において優勢なる敵と慘烈なる戰鬪を交へ、損害に屈せず猛攻遂に敵を包圍殲滅せしめる偉功を樹てた、兩戰鬪の概要次の如くである

シンパンゼーラム附近

一月十五日、岩畔部隊がマテイ附近で優勢な敵と交戰中、大柿部隊はシンパンゼーラム附近に進出、敵の退路を遮斷するとともに部隊主力のムア河渡河を容易ならしめる任務をうけ勇躍急進、幅二百米のムア河に達した、ところが橋梁がないので斥候を出して渡河點と民舟を搜索せしめ苦心の末民舟二隻を發見、一方急造筏を準備して翌十六日午前三時半から妹尾大尉を先頭に敵前渡河を開始、同七時完了した、對岸のマングローブ生ひ茂り腰を埋める濕地帶を土民の道案内で突破、正午部隊主力はシンパンゼーラム三叉路に向ひ急進したところ、同十分自動車を有する敵千五百と遭遇、敵は逐次兵力を增加し猛烈なる攻擊に轉じて來た、この時わが方も後續部隊到着しゴム林の中に慘烈な白兵戰を展開、激戰實に二時間半、優勢なる敵もわが猛攻に耐へかね僅か〇〇名、慘烈なる自動車百數十輛、迫擊砲、自働小銃、小銃、拳銃、彈藥など多數を遺棄してバクリ方面に潰走した、一方出口隊は午後二時ムア市に向ひ同五時市内に入るや乘車せる約二百名の敵と遭遇、わが方は激戰が展開したが三十分ののち敵を擊退、市内の兵營を占領したのであつた、シンパンゼーラム附近の戰鬪における戰果次の如し

遺棄死體二百五十、自動貨車百廿五、迫擊砲二、自働砲五、機關銃十、輕機關銃二十、小銃百六十、その他多數

バクリ附近の大殲滅戰

一月十八日、西村部隊主力はバクリ西方地區で敵を攻擊中、大柿部隊はバクリ東方地區に進出し敵の退路を遮斷すべき命をうけ同日午後四時半集結地を出發、ゴム林とジャングルを分けて前進し海岸路に達した、先頭の重松隊は本道に出で敵の退路を遮斷すべき命をうけジャングルを突破し本道に進出陣地を占領した、重松隊が攻擊を開始するや敵は既設陣地に據つて猛烈の火力を集中、戰況進展せず而も重松隊は死傷續出に屈せず敵の退路を遮斷、陣地を死守してその任務を完了したのであつた、一方出口隊は十九日早朝海岸路よりバクリに向ひ攻擊を開始した、これに對し敵は砲および戰車をもつて反擊し來り激戰二時間、隊長山口大尉以下死傷續出したので富永中尉が代つて指揮をとり、各所に白兵戰を展開した、翌廿日正午、敵は更に迫擊砲の集中射擊とともに戰車を先頭に攻擊し來り富永隊長は第一線で戰鬪指揮中頭部に數發の小銃彈をうけ遂に壯烈な戰死を遂げ、これがため重松隊長が代つて指揮をとることになつたが、午後三時、敵はますます兵力を增強し正面または側背に迫り來り、敵の迫擊砲の集中射擊、瓦斯彈および發煙彈の射擊により陣地附近は物凄な戰場と化し戰鬪は壯烈を極めたが同四時半わが不屈の猛反擊により敵は戰車を殘し退却した、夜に入るや敵は戰車を先頭に四方から攻擊し來り重松隊長また敵の追擊砲彈をうけて負傷、よつてさらに妹尾隊長代つて指揮をとつたが、さすがの敵もわが數度の反擊により遂に算を亂して敗走した、かくて正面より進撃するわが兵團主力の猛攻と相俟ち當面の敵を潰滅しその兵器車輛の大部分を鹵獲占領、ジャングルに挾まれたバクリ地區の殲滅戰に凱歌は擧つたのである

スリムの殲滅戰
島田　野口　兩戰車隊の偉勳

マレー西岸を進擊した松井兵團のカンパル附近の追擊戰鬪において安藤部隊に配屬せられて進擊中の島田、野口戰車隊は島田隊長の統一指揮下に破壞された橋梁を修理しつゝ一月六日午後四時トロラク東方地區で交戰中の安藤部隊に追及し、翌七日早朝工兵隊の決死的作業により戰車障碍物の除去に成功するや、時を移さず島田隊第一梯團を先頭に挺身突進部隊となり渡邊隊を突進尖兵として後續部隊を加へて強力に突進、第一線陣地に入るや數線より成る道路上の移動鐵條網および戰車地雷はあくまで進路を阻んだしかし彈雨の下戰、工の密接な協力によつて逐次これを排除よく歩兵部隊を隨伴、歩、戰、工渾然一體となつて突進したが、島田隊長は地形上より歩兵防衞の不利であることを察知し歩兵を後續して自ら突入、尖兵隊は午前七時三十分トロラクに達した、しかし部落の入口は完全に閉鎖されてゐるためなほ獨力をもつて攻擊しこれを突破することに成功、部隊主力は歩、工兵を隨伴して部落に突入するを得た、この時、渡邊小尖兵長は前方に爆破寸前の橋梁を發見、敵中猛砲火を顧みず自ら車外に躍り出で導火索を切斷したのち橋梁前方に進出して完全にこれを確保した、隊長は好機逸すべからずと戰車隊はなほも獨力挺身、敵中深く突進、スリム橋梁を確保すべきを決意し歩、工兵は歩兵部隊主力の進むまで現在地を固守すべく指示して尖兵隊のスリム橋梁突進が命ぜられた、かくてトロラクを出發した島田隊は渡邊尖兵長の適切果敢な行動により途中爆破裝置を施した橋梁五個所を導火索切斷によつて突破、強力な獨力挺身を敢行、裝甲車、砲兵、自動車、歩兵部隊などを擊滅すること數を知らず、特にスリムバトおよびその東方地區においては敵砲兵主力を急襲、砲十數門、自動車二百輛を擊滅して同十時卅分スリム東方三キロの橋梁に進出したが、なほ息をもつかず續行、尖兵長はすでにしばしば爆破した敵捷な行動により各所に導火索を切斷、あるひは橋梁閉鎖の重砲を戰車により射擊排除するなどして同十一時卅分橋梁確保に成功、一方島田隊に追及中の野口隊主力はスリムリバー北方においてはなほも敵は頑強に抵抗、歩兵の前進は意の如くならず、島田隊長はスリム南北橋梁およびその中間地域を確保しあくまでこれを死守すべく決意、尖兵隊に橋梁を確保せしめ、一部は直ちに反轉、北側橋梁を確保、佐藤隊また南部橋梁方面の敵軍陣地の敵に當り南進してこれを擊破したが隊長車は彈雨をうけ佐藤隊長以下四名は壯烈な戰死を遂げ部下戰車は日没まで隊長車を守りつゝ猛烈な戰鬪を展開し、一方島田隊長は本部車輛を指揮して南北橋梁中間地區にあつてわが連絡路を妨害する殘敵を四散せしめた、さらに野口隊挺着後友軍歩兵部隊のスリムリバー附近の戰鬪に參加すべく野口隊はさらに反轉、同日晩野口隊の誘導により歩兵をして漸次スリム北側橋梁に到着せしめた、獨力挺身した島田隊の橋梁確保と相俟つて野口隊主力の歩兵これに協力し戰鬪は兵團の作戰を有利に導いたものである、これこそ實に縱深二十キロに及ぶ隘路を戰車獨立をもつて突進、徹底的に敵地蹂躪を敢行した空前の追擊戰でありスリム附近の戰鬪はいはゆるスリムの殲滅戰と稱されマレー作戰の輝くページを飾るものである

ソロモン海戰に就て　平出大佐放送

【東京電話】ソロモン海戰の大戰果は全世界を瞠目せしめわが海軍の無敵ぶりは敗戰に喘ぐ敵國陣營をして周章狼狽せしめてゐるが、海軍報道部長平出大佐は十日午後七時半より『ソロモン海戰について』と題し十五分間AKのマイクを通じて本海戰の意義を闡明、無敵海軍の颯々たる戰鬪ぶりを一億國民に傳へた、放送要旨左の如し

平出大佐

帝國海軍部隊が七日以來ソロモン群島方面に出現した敵米英の聯合艦隊に對し猛擊を加へ敵艦隊ならびに輸送船團に大なる打擊を與へ目下なほ作戰續行中であることは九日大本營で發表せられた通りである、今回の意義を概括的に申し述べたいと思ふ、最近米英の部隊く敗戰によつてその打擊は軍事上はもとより政治上、經濟上においてもいよいよ深刻化しその現狀を打開するの必要に迫られ少くとも國民士氣を鼓吹するためなんらかの方策に出なければならぬ羽目に追ひ込まれてゐたと認められる、したがつて米當局が最近しきりに對日一齊反擊を豪語してゐたのは決して故なしとしない、流石に彼らも口先のみによつては、もはや國民の士氣鼓吹振起は出來ないのを知つてゐるのです

支那を基地とする

空軍の對日反擊に期待をかけたのである、しかしこの期待はわが陸軍航空部隊の先制的猛擊によつて完全に粉碎されついで大陸方面に對して反擊を試みんとしたのであるが嚴然たるわが防備の前には施すかたなく、反擊の企圖を放棄せざるを得なかつた、しかしながら敵は躍起となつて對日反擊の案動を續けてゐたのである、ことにルーズベルトは歐洲における獨伊の壓倒的攻勢を太平洋方面において牽制せんと企圖し一部有力部隊をもつてアリユーシャン群島に行動せしむるとともに米英の殘存艦隊を集結し戰艦、巡洋艦、驅逐艦、航空兵力よりなる艦隊を編成し輸送船團を擁して

ソロモン群島方面

に出現し來つたのである、したがつて反擊の規模も大きかつた、この輸送船の中には米國が多年訓練して來た海兵隊を乘込ましてゐるものと思はれるのであつて、米國海軍省の如きも今回の出擊を『アメリカがはじめてとつた大攻勢である』と豪語してゐるのであるが、これによつても如何に彼らが今回の出擊に期待をかけてゐたかが判るしかるに發表の通りわが方は現在判明したものだけでも敵艦艇十七隻以上を擊沈破し輸送船十一隻以上を屠るといふ戰果をあげてをりこれに對してわが方は損害極めて輕微である、現在までに入手した報告によつて當時の戰鬪の模樣を推測すると大要次のやうなものであつたらうと思はれる

すなはち帝國海軍の哨戒機が七日早朝ソロモン群島方面に出現した米英聯合艦隊を發見、直ちに同方面のわが艦隊、航空部隊に報告した

我實力、重ねて證明
敵のデマ宣傳、つひに不可能

この報告によつて

出動したわが戰鬪機隊はまばかり敵艦隊および輸送船團に襲ひかゝり、また敵戰鬪機群と猛烈なる空中戰を展開、たちまち敵四十一機以上を擊墜した、ついで翌八日朝にはわが雷擊機隊が敵艦隊を捕捉、恰度スコールが下から逆に降るやうな猛烈な防禦砲火を冒してこゝに海鷲得意の捨身必殺の雷擊、爆擊が行はれ、遂げまどふ敵艦船はこゝに大打擊を蒙つたのである、雷擊機隊の攻擊が終つて一息つく間もなくわが水上艦艇が敵艦隊に接近、夜に入るや敵多數艦艇の影を發見したわが勇猛なる指揮官の『鬪』の一令のもと指揮官自ら先頭にたつて暗夜長驅突進して衆を恃む

敵艦隊の眞つ只中

に躍込み舷々相摩する肉薄戰を敢行、敵の主なる艦艇を殲滅せしめ凱歌をあげたのである

この間において兵力においてわれよりも遙かに大であつた敵兵力に潰滅的打擊を與へたことは敵の虚を衝く兵術の卓越性は固よりのこと、わが戰鬪術力に格段の差があることを重ねて證明したものである、この海戰によつて明らかにされたことは米英海軍戰力が決定的に低下し彼らが如何に艦艇航空機などの増強に腐心となつてももはや恢復し得ない滿落の一途を辿つてゐることであるが、本海戰によつて米英と豪洲との連絡がいよいよ困難化することになり、太平洋作戰の全部に對しては固よりのこと、延いては大西洋作戰にも極めて大なる影響を及ぼすことは論を俟たぬところであり、殊に大鑑の巡洋艦ならびに輸送船を喪失したことにより樞軸側の通商破壞戰もいよいよ有利に展開することであらうと思はれるのである

さきにアメリカは

日本軍のアリユーシャン作戰を否定したのであるが次でアメリカに實害なしと發表しをの事實を肯定せざるを得なくなり、さらに最近においてはしきりにわがアリユーシャン作戰を重大問題なりとし、殊にこれを日ソ間問題に結びつけんとして宣傳これつとめてゐる有樣である、事實を否定しあるひは默殺しあるひは歪曲してデマ宣傳をでつち上げることは彼らの得意とするところである、ハワイにおいて戰艦二隻を失つたに過ぎないと發表してハワイ海戰の大慘敗を隱蔽しまたマカツサル海戰といふ架空の大戰果を宣傳してはジャバ海方面における潰滅的打擊を糊塗してゐるなど苦肉の策を弄してゐたのであるが、今回な輸送船團の損害のみはこれを認めてゐるやうである、さすがの彼らもこれを國民の目から隱蔽するには事實が

餘りに大き過ぎた

ことゝ思はれるが、最近アメリカ國民が政府のデマ宣傳を信用しなくなつたことは蔽ひ得ない事實である、もとくアメリカの指導者たちはかく出先部隊のデマ誇大報告に惑はされたのか、デマ誇大報告と知りながら敢てこれを宣傳してゐたかは別として對日反擊は易々たるものであると國民を信じさせてゐたことは事實である、また彼らがあくまで日本の戰力を過少評價してゐたことは爭へないところである、もしも彼ら指導者たちが日本の實力を知り、もつと愼重であつたならば、かかる敗北に次ぐ敗北は重ねないで濟んだかも知れない、アメリカの敗戰はかかる下手な戰ひをなさしめるルーズベルトの欺瞞政策による ものといふべく『ルーズベルトの欺瞞政策』米海軍を滅す』とでもいへるのである『マカッサル海戰』『珊瑚海海戰』『ミッドウェー海戰』などのデマ宣傳によつて

日本艦隊はすでに

潰滅したと敎へられたアメリカ國民はソロモン海戰によつて米英新編成の聯合艦隊を擊滅せるわが海軍の堂々たる布陣を知るならば、彼らの指導者の責任を追及する聲は今さら傲然たるものがあらうと思はれる、かくてアメリカの指導者たちもこれ以上デマ宣傳をもつて國民を欺瞞することの不可能なるに氣がついたことゝ思はれる、すなはち今回のソロモン海戰について戰果は別として、先づこれを認めてゐる點よりしてももはやアメリカはわが海軍の赫々たる戰果の前に徹底デマ放送位では太刀打ち出來ないことを認めざるを得なくなつた證左と申さねばならぬ、ソロモン海戰によつて豪洲はいよいよ孤立化するに至つた、アメリカに依存する限り豪洲の防衞に不安なしと豪語してゐた豪洲陸相フオードの如きも『われくは全力を戰爭遂行に傾注すべく結合してゐるが、われくは今や最惡の危機に直面してゐる』と悲鳴を擧げてゐるのである、豪洲は今こそ頼み甲斐なきアメリカに頼つてゐる愚さを

嚴たる事實のうち

から學ばねばならぬ、ルーズベルトの欺瞞政策がアメリカ海軍を亡ぼしつゝあると同樣アメリカに依存する豪洲がこれによつて滅亡しなければ幸ひである、世間ではややもすれば大東亞戰爭は一段落を劃しいはゆる建設期に入つたと考へ易いやうであるが活潑なる作戰は現に遂行中であり將來もなほ遂行されるのである、もはや戰爭は一段落をつげたかの如く考へるとは大なる油斷である、現に米國はその大資源をもつて艦艇飛行機の増強に狂奔し兵力の數に物をいはせておれに對抗せんとしてゐるのである、從つてわれくはいやでも彼らの出擊を撃へ徹底的にこれを擊滅して行かねばならぬし、またこれに對しては充分なる確信を持つてゐるのである、近來喧傳される南方建設もあるひは國内生産擴充の能力增進なども、また

敵戰力を破壞殲滅

して敵を屈伏せしめることが主眼であり、これによりわれくは充分なる戰力を養ひもつて米英軍の撃滅に邁進すべきである、わが海軍は東西南北各四千餘浬にわたる大防衞線、大作戰線を確保し敵の一艦一艇といへども擊滅し盡さねば已まぬ不退轉の決意を新にしてゐることを申上げ得るのである『勝つて兜の緒を締めよ』とは戰勝毎にいはれてゐるがわれく國民はこの意味に徹底したいと思ふ

敵の北方反擊も空し
アリユーシヤン方面　有力部隊を擊退

大本營發表（十日午後三時三十分）アリユーシヤン列島方面帝國海軍部隊は八月八日同方面に出現せる敵有力部隊を擊退せり

敗敵米、世紀の悲劇
廣袤一億四千平方キロ　搖ぎなし無敵海軍

【東京電話】故國を距る南三千浬ソロモン群島附近海域に敵米英聯合艦隊を捕捉せる帝國海軍部隊は七日朝來果敢極まる攻擊を續行、現在の瞬間もなほ着々戰果を擴張中であるが、恰も時を同じうし、わが本土より北方三千浬のアリユーシャン列島アツツ、キスカ方面に敵艦隊が出現、先地奪還を夢み策動し來つたに對し濛霧立ちこめる北海に果敢と戰ひつゝ悠然待機せるわが海軍部隊は勇躍出擊し八日敵艦隊を邀へて痛烈極まる攻擊を敢行した敵はわが猛攻を受けるやアツツ、キスカ奪還の夢も瞬時に消滅、倉皇として艦列を亂し遁走し去つた、敵米國が今回アリユーシャン方面に艦隊を出現せしめたるは米國輿論がルーズベルト一流のデマに躍りいまだ自國の斷然たる敗色を自覺せざるためアツツ、キスカ奪回を喚んでやまず民主主義國の通弊として敵米國海軍首腦部は輿論の前に自己の面目を保つ能はず、つひにこれが奪還を決意し濃霧に助けられつゝわが艦艇の北洋所在海軍部隊の隙を狙はんとしたのであるが、六月八日アツツ、キスカ占領以來二ケ月餘寸毫の油斷もなく警備の布陣をしくわが海軍部隊の察知するところとなり猛攻を浴び瞬時にして潰走の已むなきに至つたのである、かくて米國は開戰以來の大敗北を糊塗せんとしてデマにデマを重ねた末つひに無謀なる策動を敢てし北に敗れかつ南においては眞珠灣攻擊以來の多大の打擊を受けた敵海軍首腦部は深刻なる煩悶をつゞけつゝある、正に驕慢に驕る者の世紀的悲劇といふべきであらう、それにつけても廣袤一億四千平方キロの太平洋上に北方艦隊のアリユーシヤンより南方海かなる南半球水域にまで鐵壁を張りつつ隨所に敵を捕捉殲滅しつゝある帝國海軍の偉觀、果敢さは誠に感嘆に餘りあるものがある

峽口、保安街を確保

【浙江〇〇にて十日同盟】浙贛線江山南方〇〇附近より五日朝突如一齊追擊作戰を開始したわが〇〇部隊は同日廣信東方〇〇より東進せる〇〇部隊と呼應し、酷熱無風の山嶽地帶の難行軍を克服し兩部隊とも六日には早くも蘇家嶺、西山、虎頭山、紫大山を連ねる線に進出し、敵第百五師二千が後退集結しつゝある峽口（江山南方三十キロ）およびその南方保安街に對し逐次半月形陣地を壓縮しつゝ、同日夕刻には南下進擊部隊は峽口北側高地において頑強に抵抗する敵を擊退、一擧に強行突破して敗走する敵を急追七日には保安街北方蓮華山高地に據る敵主力に對し東、西、北の三方面より攻擊を開始、疲勞困憊せる敵に殲滅的打擊を與へ、南方に潰走する一部に歩、砲聯合の猛射擊を浴せて同地一帶にあつた敵の軍事施設を徹底的に覆滅し炎熱の山頂に凱歌の萬歲を絶叫した

駐日勃公使挨拶

【新京十日同盟】赴任の途にある七日以來滿京中の駐日初代ブルガリヤ公使ヤンコ・ペーエフ氏は十日午前十時半外交部に三浦次長を訪問、駐日公使として赴任の挨拶を行つた、この訪問は同公使が近き將來に於て駐滿公使を兼任する前提をなすものとして注目を惹いてゐる

西南北居

ソロモン海戰の特徵は日本海々戰以來未曾有の夜戰であつたといふことだ▲『艦隊は夜目にもしるき航跡を殘し…』『續々火を發する敵艦船は月暗々たる珊瑚海をそめ…』とあるから▲その夜戰の豪華、絢爛さはさぞかし華麗な大繪卷だつたと想はれる▲艦列を亂して逃げ惑ふ敵艦船を追撃また追擊、その白兵戰の模樣はまた痛快極まりなき光景であつたと思はれる▲かくて見敵必殺の我海軍の傳統がこの一戰でも遺憾なく發揮されたことは力強い限りであるが▲發表された戰果のみでも、ハワイ海戰に次ぐ偉大なる戰果であることも本海戰の特徵である▲蓋し我海軍の底知れぬ威力は今こそ米英の胸底を行つものがあつたことだらう▲英國は果然印度の指導者に彈壓を加へて、これを逮捕したが▲ガンヂーがその直前印度民衆に與へた『死の指令』は全印に電波の如く傳つて▲今や印度は獨立の炬火を雄々しくかざして起ち上つた▲ガンヂーの不服從運動は無抵抗主義で武器に頼らぬ無言の抵抗であるが▲これは多分に宗敎的な一つの悟道から出發してゐる▲しかし問題は鬪爭である以上、無抵抗主義では確かに効果的でない嫌ひがある▲今度の全印度の鬪爭が今後如何なる形に發展するか▲もとより擾亂の限りでないが、もう一つ喰ひ足りぬものを感ずるのは實にこの無抵抗主義である

全印度・一大修羅場化す

民衆警官隊と衝突！

随所に流血の惨惹起

【ストツクホルム特電】（九日發）九日未明より果然開始されたイギリスの對印彈壓は單にボンベイ滯在中の會議派領袖の逮捕のみならず即日全印各地に及び殊に日本軍を東境に控へた炎熱最も熾烈なベンガル州では各運動の指導者初め一般民衆に對して最も苛烈なる逮捕彈壓が開始され、到るところで血腥い衝突事件が頻發しつゝある

【サイゴン特電】（十日發）ボンベイ來電＝英政府の彈壓強行に憤激せる印度民衆は九日夜に至り全印委員會の新反英運動計畫を早くも實踐に移しボンベイその他重要都市でそれぐ一大示威運動を開始、各地でイギリス官憲と衝突、八方流血の慘事を惹起印度全土は今や一大修羅場と化した、

既ちボンベイにおいては全印委員會々場前に蝟めく數千の民衆は口々に印度獨立を叫び英印當局の暴虐に悲憤の聲をあげつゝ示威運動を敢行、その一部は暴動化して市内數ケ所の警察署を襲撃して警官隊と大衝突を起し民衆は警官隊の催涙瓦斯やピストル亂射の下を潛り同志の屍を踏み越えて三ケ所の警察署を燒き拂つた、又アーメダバツドにおいては學生を中心とする民衆示威運動が決議されこれを散會させんとした武裝警官隊と衝突、又一部はバスを襲つて破壞、穀倉を破壞して穀食を持ち去るなど忽ち全市大混亂に陷り反英運動は非暴力運動の線を突破して早くも暴動化した、又一部は大混亂に陷り數十名の死傷者を出したが、民衆の激昂その極に達し目下なほ民衆對警官隊の爭鬪が續行されてゐる、なほ右都市のほか各都市においても大小の示威が行はれてゐる

英、天人倶に許さぬ非道

催涙瓦斯使用・鎭壓に狂奔

【リスボン九日同盟】ロイター通信ボンベイ來電＝ボンベイ市内では激昂せる民衆と警官隊との間に廿五ケ所において亂鬪が行はれ、警官隊は催涙瓦斯や實彈發射を行ひ、十五名が彈丸を受けて病院にかつぎ込まれた、英當局發表によれば、民衆は政府所有の穀倉二棟を掠奪また警官と警察署に投石しバスを燒きすてた、警官隊の中でも、特に英國人の警察官は各所で民衆に襲撃された、なほ九日夜英當局は騷擾地域に夜間通行禁止令を發し五人以上の集合を禁止したが、武器攜行も正式に禁止令が發せられるはずである、アーメダバツドでは民衆が警官駐在所に投石し、火を放たんとしたので警官はつひに發砲して死者一名、負傷者一名を出した、ボンベイ政廳の發表によれば、九日ボンベイ市内における民衆との衝突で警官十九名が負傷しそのうち二名はつひに死亡した、また午後五時までには卅四名の巡捕と十一名の警察官が負傷した、巡捕四名は負傷のため入院してゐると報じてゐる

【リスボン九日同盟】ロイター通信ボンベイ電によればガンジー翁逮捕の報が一度傳はるや市民は口々に『ガンジー萬歲、ガンジー萬歲』と叫んで會議派ボンベイ支部の附近に蝟集し、英官憲が支部の上に翻る會議派の三色旗を引下さんとするのを見て俄然激昂して警官隊と衝突した、警官側は催涙瓦斯を用ひてこれを四散せしめんとし、なほも動かぬ群衆に對して一齊に棍を振つてこれを毆打四散せしめた、ガンジー翁は九日夜ボンベイ市内のシヤピジ公園で演説を行ふ豫定だつたので早くも午後には續々聽衆が詰めかけたがガンジー翁逮捕の報に俄然反英氣勢をあげここでも警官隊との間に亂鬪が演ぜられた、すでにボンベイ市内の商店の大半は店を閉ぢ到るところで群衆が交通機關の運行を阻止してをり、また『英人よ印度を去れ』『英國品をボイコツトせよ』『米國品をボイコツトせよ』などのスローガンを叫んで市内をねり歩きこれを鎭壓せんとする警官隊を懸命に疲れさせてゐる、一方ナグプール、プーナ、アーメダバツド、カイラなどの各地でも會議派要人の逮捕と支部の閉鎖が行はれ憤慨して蜂起する民衆と警官隊の間に衝突が起り形勢は不穩を極めてゐる

大衆運動の記事掲載を差止

【リスボン八日同盟】ロイター通信ニユーデリー電によれば印度政廳は八日附をもつて今後國民會議派が展開する大衆運動ならびにこれに對し英當局が實施する措置に關しては一切新聞記事掲載を差止めた

右記事差止めは大衆の行ふ演説や聲明の報道をも含んでゐるがたゞ政府筋または印度通信社あるひは當局の信任する通信員から出た記事は除外されてゐる

在馬來印度人も蹶起す

【昭南市十日同盟】英國政府のガンジー以下國民會議派領袖連の逮捕監禁の報傳はるや全マレー在住の七十五萬印度民衆は憤然蹶起來る十二日夕を期して一大示威運動を展開することとなつた、すなはち昭南市、ペナン、クアラルンプール、イポーをはじめ全マレーの十九主要都市においては同日は全印度人商店は閉鎖され、ハルタル日（ボイコツトの意）として英國の理不盡なる彈壓に抗議するはずである

右につきケー・ピー・ケー・メノンは次の如く語つた

ガンジー翁以下逮捕の報は豫期してゐたところであるが却つてこれが印度獨立運動にさらに油を注いだやうなものである我らは死を賭して目的貫徹のため鬪ふのみでありかかる運動に參加し得る光榮を喜ぶものである

檢擧すでに三百名

【バンコツク特電】（九日發）印度政廳の會議派に對する檢擧の手は既に擴大中で、九日ボンベイ情報によれば、全印各州における國民會議派指導者にして檢擧されたものはすでに三百名を突破するといはれ一九三〇年以來空前の大彈壓が實現されつゝある

撤退決議支持

バンコツク大會

【バンコツク十日同盟】印度獨立聯盟バンコツク支部大會は、ボース委員長の指示に基づき九日午後四時よりバンコツク支部において在バンコツク印度人約千名集合のもとに開催された、大會に先立ちガンヂーらの逮捕が傳へられたため會場の空氣は弥が上にも昂られ、まづボース支部長の開會の辭についでガンヂー、アザツト、ネールらの萬歲を叫んだのち國民會議派全印委員會の英勢力卽時撤退決議を絶對支持する旨滿場一致可決、ついで在バンコツク有志十數名交交起つて獨立の熱意を披瀝し最後に特に支部大會に臨席したボース委員長は

いよくわれくの對英宣戰布告の秋が來た、今はすでに議論の時代ではなく、實行の秋である

と述べ一同を激勵午後六時散會した、なほ十日は國民會議派の旗を掲げた印度騎兵二百を先頭に在バンコツクの印度人が反英獨立の示威行進を行つた

“鬪爭はこれからだ”

ボース委員長決然語る

【バンコツク十日同盟】印度政廳がガンヂー、アザツト、ネールをはじめ二十餘名の國民會議派指導者を逮捕し大彈壓の擧に出たとの報に接したバンコツク在住の印度人は續々本部に押寄せ口々に『打倒英國、獨立印度萬歲』を唱へ印度獨立卽時獲得の決意を深くするとともに反英氣勢を一段と昂揚させてゐる、獨立實行委員會委員長はこの報告をうけるや直ちに各地の獨立聯盟支部に激勵電報を發し二百數十萬の大東亞在住印度大衆の奮起を促した、九日記者が長室にボース氏を訪へば數名の本部員となにか協議中であつたが快く記者を迎へ入れ『私はこの報告を受けたとき少しも驚かなかつた、來るべきものが來ただけです』と冒頭して左の如く語つた

三百頭逮捕の報をうけたときは却つてさつぱりしたやうな氣がした、恰度昨年十二月八日眞珠灣の大爆擊の報を受取つた時と同じやうな氣持でした、來るべきものが來たのです、印度の本當の鬪爭はこれからはじまるのです、大東亞戰爭が起つたのが十二月八日で印度が英國撤退要求を可決して事實上の對英宣戰を布告したのが恰度八ケ月目の八月八日だつたことはなんだかこゝに神様の啓示があるやうに思はれ英國の運命はすでに決したといふことが出來る

英の彈壓強硬

團體活動を一切禁止

【リスボン九日同盟】ビー・ビー・シー放送によれば、印度政廳は九日會議派運用委員會、全印委員會地方委員會などの會議派團體の活動を一切禁止し、さらにボンベイその他騷擾地方における一切の集會をも禁止し政廳は治安維持のためのあらゆる警戒の措置を講じてゐる、また印度義勇軍が平案の際集合したのに對しても英當局はこれを解散せしめた

卸・小賣共に騰貴

六月中全鮮物價

企畫部調査＝（昭和八年基準）鮮内六月の卸賣物價指數總平均は二二七、四で前月比〇、二%の低落、前年同月比二四%騰貴となつた、各品目別に見れば前月比騰貴せる主なるものは本絹綿紗の二、三%、馬鈴薯の一、四%、牛肉の一、三%、燐酸の一、〇%等にして低落せる主なものは白胡麻の三、九%、亞麻の二、五%、鮮棉の一、七%、澱粉の一、四%、絹綿紗の一、四%等である

本月中における平均指數及び前月比較左の如し

	本月	前月比増減%
▲食料品	二三一、二	（一）〇、一
穀類	二四二、五	（一）〇、五
調味料	二〇六、八	（十）〇、一
飲料	一八六、一	（〇）
其の他食料品	二六二、五	（十）〇、一
▲衣料品	二二五、〇	（一）一、二
▲金屬類	二〇一、五	（〇）
▲建築材料	二〇一、六	（一）三、六
▲燃料	一九七、六	（十）〇、三
▲肥料	一九四、〇	（〇）
▲雜品	二七九、四	（一）〇、〇四
▲總平均	二二七、四	（一）〇、二

同じく小賣物價指數は總平均二二一、五で前月比〇、六%騰貴、前年同月比二、一%の騰貴となつた品目別では騰貴せる主なもの林檎の三〇、一%牛肉の七、六%、挽麥の六、九%、本絹綿紗の五、七%、バナナの三、九%、澱粉の三、八%にして低落せる主なものは玉葱の九、三%、馬鈴薯の七、一%椎茸の六、四%、洗濯曹達の二、六%、小麥粉の一、六%等である、

本月中に於ける平均指數及び比較左の如し

	本月	前月比
▲食料品		
第一類	二〇六、四	（十）〇、八
第二類	二〇六、六	（十）〇、四
第三類	二〇二、九	（十）三、七
第四類	二二三、〇	（十）三、七
第五類	二五六、七	（一）一、九
第五類	一八一、六	（十）〇、三
▲衣料品及身廻品	二二八、七	（十）〇、四
▲建築材料	二二九、〇	（十）〇、九
▲燃料	一七八、八	（十）〇、一
▲雜品	二三六、七	（一）〇、〇四
▲總平均	二二一、五	（十）〇、六

東上の途次に

南鮮地方視察

田中總監　十五日出發

田中政務總監は十五日午後十時五分京城驛發列車で東上に決定した、なほ總監は途中全南、慶南兩道の學事地帶視察を次の日程で行ふ

十六日午前全南松汀里着、それより自動車で沿道の農村事情を視察しつゝ順天を經て同日午後七時麗水着、同夜一泊、翌十七日再び自動車で慶南に入り、同夜は釜山鐵道ホテルに一泊、十八日釜山發内地へ向ふ

田中總監

〔寫眞＝田中總監〕

尺八

吉田晴風　佐藤晴美　先生指導

尺八は首振三年と云つたのは昔で、君が代、荒城の月から六段、千鳥等が短時日で吹ける尺八獨習書と練習尺八が出來ました。夏の夕べ朗々たる竹の音は疲れを忘れ明日の力となります、尺八は文部省推奬の國民樂器です

尚軍歌、唱歌、流行歌、民謡、古曲等淨山の樂譜も有ります

（詳細カタログ贈呈）

大阪市住吉區千体町五〇

大日本尺八報國會

尾之上總領事

民間新聞界へ

【東京電話】情報局報道官として多年新聞新體制推進に活躍さきに總領事に轉出を見た尾之上弘信氏は今回民間新聞界に入ることになつたので二十日發令外より左の如く發表された

依願免本官　總領事　尾之上弘信

商銀異動（六日附）

（括弧内は舊職）

命滿洲支店支配人代理（滿洲支店支配人代理）　小關弘夫

命咸興支店支配人代理（仁川支店支配人代理）　富永章一郎

命密陽支店支配人代理（群山支店支配人代理）　吳昌煥

命群山支店支配人代理（密陽支店支配人代理）　池山秀明

命仁川支店店内代理（仁川支店行員）　松井茂雄

『圓綜合決濟』確立へ

適切・堂々の施策

大東亞金融圈設定

君島鮮銀副總裁談

君島鮮銀副總裁は十日午前七時四十五分京城着列車で入城したが、現下金融界の諸問題につき大要左の如く語つた【寫眞＝君島副總裁】

大東亞金融圈設定

去る七月廿四日大東亞審議會の結實として發表されたところにより皇國を中心とする大東亞金融圈設定の方針が明確にされた、すなはち圏内各地域間ならびに圏内と圏外間に基本的收支計畫を樹立して日本円による綜合決濟の方法を採らうといふのであり、また日本円の通貨制度を確立して圏内各地域の通貨制度を確立發展せしめようといふのである

眞に堂々として、しかも適切なる基本方策であつて、その具體的なる現はれとしてはさきに日本銀行は泰國大藏省に對し借款を附與したが、次ぎに先日また中央儲備銀行に對し一億円借款の供與となつた、國民政府においては中央儲備銀行券をもつて中南支における基本通貨とするといふ方針のもとに舊法幣を排擊し漸次その効果を收めつゝあるのであるが、複雜微妙なる大陸經濟においてさらに金融の安定、儲備券の價値維持をはかりもつて各種工作を進めようといふのである、かやうに日本銀行を中心に大東亞金融圈は有機的な生成發展を遂げつゝあるのであるが、圏内においてはかの金融統制會着々歩武を進めまづ日本銀行を中心として陣容を整へたうへ、分課規程を定めて内部機構を整備し、連絡會議を設けて會員との意思の疏通をはかりさらに統制規程を制定して會員に對する指導統制の準則を確立した、各統制會もまたこれに準じてそれぐ統制規程を制定したので全國金融統制會のもとに意思通達の路が構築されたわけである

金融統制會の事業

さて全國金融統制會の事業は開業令において明示されたところであるが、そのうち金融事業の整備は政府當局が言明したごとく政府自らこれに當り實際上全國金融統制會が關與する場合は勘いであらうが、これに反し資金の吸收運用は擧げて、金融統制會に一任されてゐるので、同統制會の今後の動きは此方面に重點が置かれることは明かである、これが具體的に表現されたのが七月二日公表された統制規程であつてその主なる點は次の通りであるが、それ以外は今後必要の都度追加されてゆくことになつてゐる

（一）資金の吸收および運用に關する計畫書の提出を命じまたはその計畫の變更を命ずること、あるひはその計畫による資金の運用を命ずること

（二）有價證券の應募引受または買入等に關し政府の計畫の實施につき必要な指示をなしその適宜指示をなすこと

（三）共同融資または融資の制限に關し指示をなすこと

（四）金利等その他資金吸收および貸出の方法條件に指示をなすこと、また手數料等に關し指示をなすこと

統制規程の運用

統制規程なるものは事業遂行上强制力をもつて會員を拘束するための準則であるが、結局問題は實際の運用如何にあるわけである、右のうち（一）の資金計畫において預貯金額を査定してこれを設備資金または運轉資金に幾何、有價證券投資に幾何、支拂準備金に幾何といふ風に資金の配分に計畫性を附與せしめようといふので、目下事務當局で研究中であるから漸次効果が顯れてくるであらう、これに關聯して産業界の統制會もほとんど出揃つたからそれとの連絡を如何にするか、これは今後の重大なる事項である（四）の金利等の調整は從來とも組合銀行間または地方金融懇談會においてある程度の効果を擧げてゐたものであり、また近く制定される筈の地方金融協議會の統制規程は右の點に重點を置く模樣であるから遠からず具體化してくるであらう、そして現在最も活潑に動き始めたのは（二）の有價證券に關するものである、（三）の共同融資に關しては目下のところ制限については目下のところ未だ具體的に考慮されてゐないやうである

統制會育成に協力

かやうな全國金融統制會の動きに對してはそれぐの立場からいろくの批判がなされるであらう、しかし金融統制會組成の各種金融部門擔當者たるものはよろしくこの制度の基本理念を充分諒解して、それが官廳の外郭でもなければ政府の代行機關でもなく、金融業者自身の自律的企業共同體たることを確認して、資料の提供、調査の協力または許議員制の活用等により新生の統制會育成に全幅の協力をなさねばならぬものと信ずる、しかしてこれと同時に各自の内部機構もこの線に沿つて或は再編成し必勝體制を整備する必要があらう、この點について今回政府のいはゆる行政簡素化の示唆を受くるものなのである

商議共同調査會

愈よ設置に本決り

十二日關係者の打合せ

商工會議所調査機能の二重調査による弊害を是正し、併せて國家目的に即應せる調査乃至地方產業の開發振興上、重點的に集中調査を要すべき事項を談定かつ能率的に調査するため、朝鮮商議では兼ねて全鮮商議中央調査會およびその下部組織としてブロツク別商議聯合會毎に共同調査會を設定すべくかねて準備を進めてゐたが、このほど諸般の準備を完了したので來る十三、四の兩日午前九時から京城商議第一會議室に全鮮商議主事、調査主任及び事務擔當者を招致し

一、地方商議聯合會共同調査會並に全鮮商議中央調査會設置に關する件

二、調査機能の發揮に關する具體的方策（各商議より提案）

について懇談打合せを行ふが、第二日目の十四日は仁川工場地帶を視察することになつてゐる

西貢の巻

大東亞の表情

1

日本品の氾濫

安南娘宣傳に大童

【サイゴン十日同盟】サイゴンの街の顔は日本商品の進出で殊に一、二ケ月の間に急速に變貌してゐる

＝商品は全部日本製＝

去る七月十四日のフランス大祭日カトルズ・ジユイエにフランス人の着た服裝も化粧も御馳走も殆ど全部日本品であつた、サイゴンの銀座カチナ通りのフランス人、安南人、或は印度人の食料品店化粧品店のショーウインドーにはメイド・イン・ジヤパンと銘打つた罐詰、白粉、石鹸、醤油等が美術的に配列されて散歩する人々の足をとめてゐる

洋裝店では賣子の安南娘が『これニツポン製です、たいへん上等です』と大聲で宣傳してゐる、どこで日本語を覺えたかと訊ねると最近開校された日本語夜學校で教はつてゐると得意氣に答へた、佛印最大の百貨店グラン・マガザンの各部商品棚の商品は過半が日本製品だ、矢車草、スキートピー三色菫、トマト、甘日大根等々の種子まであり、紙袋には丸公のマークが入つてゐる當地の民衆はこれを商標と感違ひしてゐるがともかく當地でも目下丸公大流行でさうだ

更に又樂器部では和樂、洋樂等の日本盤のレコードは完全に品不足の歐米品を壓倒し、淡谷のり子の『雨のブルース』は最も賣行きがよく、浪花節『森の石松』も既にフランス人二名、安南人九名の買手がついたが、彼等は森の石松なる日本民衆の龍兒を物語つた『日本歌舞』を通して日本精神を研究しようといふのだ

＝親切になつた佛人＝

フランス人はいらくしたところがなくなり、安南人も大東亞の大戰が始め、日、佛、安、華、印等各人種が一つのテーブルを圍んでビールを飮んでゐる風景も時々見受けられる、南部佛印華僑の最大の勢力家敍振飴氏は『今のところ佛政府は南京政府を正式に承認してはゐないが日本軍進駐以來フランス人はとみに親切になつた』と語り

又或るインテリ安南人は『以前はフランス人は我々に〃お前言葉〃で話をしたが、最近は御世辭に聞く位ムツシユーを使つて誰々さんと呼びかけ、又佛印聯邦會議でも、我々にも政治的權能を與へようと立案中だし、兎も角進駐の前と後では佛人の態度に雲泥の相違がある』と語つた、一方當地の日本人も大東亞各地に皇威の及んだ今日は、自然に『大東亞の盟主』に相應しい一種のゆとりある態度が見えて來たことが感得せられるのである【寫眞＝めざましい日本商品の進出振り、店頭に山と積まれた特に喜ばれてゐるカキの罐詰】

不動産競賣公告

登記公告

京城版

嬉しや『豪雨給與』
農民達に天惠の肥料

傑雲の雨で五日以來俄かに活氣を呈しはじめた鷺島方面の畑地は嘗かれた後の耕地に全部落民總動員で當つてゐるが、このほど同地方一帶は五日の慈雨が文字通りに甘露となつて夥しい肥料が流れこんで一面の沃土と化したことが判つたこの原因は例年の洪水時には毎時畑作を根こそぎ洗ひ流されて再起出來ぬまでに叩きのめされてゐたに拘らず今回の水害は都心地に限られて農村へはむしろ慈雨となり、あの夥しい水量によつて多少地表に土砂流れ程度の出水はみたが、それが却つて肥料を畑地に送りこんだ結果となつて、水の引いた後には残された肥料が工合よく土に混入して耕作の農夫達を喜ばせたのであつた【寫眞＝天惠の肥料に耕耕を急ぐ鷺島附近の農民たち】

"大根の種播きに誂向き"
署長さんも喜ぶ

この現象に所轄城東署でも大いに喜んで佐々木署長は次のやうに語つた

『都會の人が水害に見舞はれてゐるといふのに畑の方は肥料に惠まれたといふのは一寸皮肉だしかしお蔭で大根の播種に都合のよい土が出來上つたと聞いてゐるから有難い豪雨と見よう、せつかく播いた種が流れた畑も多少あらうが、これに力を落さず同方面の農民が飽くまで再耕して増産に邁進してゐる姿は頼母しい』

朗か増産風景
地主も畑地へ

また西鷺島に二町歩の耕地を持つてゐる尾園宮三郎さん(愛知縣人)を畑地に訪へば、小作人數名間の

修養訓話　城東署では警察官の情操をたかめるため十日午前八時から同署に修養團朝鮮總局總務小貫文雄氏を招いて二時間に亘つて署員に修養訓話を聽講させた

に立ち交つて働きながら元氣よく語つた

『御覽の通り二度目の耕作をしてゐるところです、雨で表面が固くなつたのでこれを元通りに柔かくするのですが、ここでは大根を蒔きます、一度蒔いたのですがその直後にあの大雨でしたからもう一度土を練り返してやるのです、充分肥料も吸つた後ですから蒔けば直ぐ生えるでせう、増産はこれからです』

節水、貯蓄、體操へ
よい市民の心得三つ

『お互ひに親切を盡しませう』と總力運動の實踐事項は親切を標印に八月の進軍譜を奏でてゐるがソロモン海戰の捷報は一層結集の機運を高め職域奉公に火の玉の熱ひが認められてゐる、國民總力京城府聯盟では十日の愛國班常會で周知事項に左の三項目を擧げ一層の實踐を強調してゐる

一、給水制限をうけないやうに用水は思ひ切つて節約致しませう雜用には井戸水を使用するやう氣をつけませう

二、京城府の本年度貯蓄目標額二億一千六百六十萬円に對して六月末現在の實績は三千四百萬円で目標額の百分の十五にしか當りません、これは六月末全鮮平均百分の廿六に較べ非常な不成績です、一層の消費節約、貯蓄獎勵につとめませう

三、毎朝のラジオ體操は子供に較べ大人の參加者が減つたやうです、多に備へて大人も子供も逞しい鋼の體で御奉公の出來るやう揃つて參加して下さい

豫想外の申告者
けふから愈よ體力檢査

『我等お國に召されたり』府内在住の内地人青年が待ちに待つた『體力檢査』は愈よけふ十一日から一週間實施される

國民體力管理準備のため京城府では先般來府内在住内地人青年で大正十一年十二月二日から同十三年十二月一日の間に出生した檢査該當者の申告を促すとともに名簿作成に當つてゐたが時局に挑む青年の意氣は如實に反映し締切後にも申告者殺到し豫想數の二倍に達する活況を呈し該當者總數の九〇パーセントに當る好成績を示した、『體力檢査』は十一日午前九時から午後五時まで府内南大門、東大門兩國民學校で施行、同じく『體力章檢定』は同時刻に京城運動場で施行される

車屋さん献金　京城樂園町一六四鋼路人力車營業組合員代表朴仲氏さんは十日鍾路署を訪れ百六十円の献金手續をとつた

第三回彈丸切手　賣行き好調

去る八日の大詔奉戴日を期して賣出された第三回彈丸切手は前回の好況に劣らず忽ち街の人氣をさらつて全鮮各都市の賣行きは華々しく初日から京城二割五分、釜山二割七分、平壤一割六分といふそれぞれ配布額二十萬円の約二割近くの消化率を見せ頗る好調な發足をなした

なほ同切手は十五日まで賣出されるが前回同樣に逸早く賣盡くされる模樣である

哀れ安田君絶命

〔六日〕午前十時三十分頃府内醫專病院附近の橋下の水溜りで中學町五六安田美彦君＝曾星學校二年生＝が危く溺死せんとするのを龍山部隊山田正二軍曹が發見、通り合せた京都帝大學生姜安輪君と協力して救ひ上げ約一時間半に亘つて介抱したが、遂に蘇生しなかつた

しかし公務の身で人命救助に當つた山田軍曹を初め姜君の行爲は當局を感激させてゐる

皇軍へ赤誠譜

十日西大門署へもたらされた皇軍への赤誠の花束……

▲金百十円六十六錢　竹添一松月(藤崎謙祐氏經營)の女中さんたちが為皇大東亞戰爭勃發とともに献金箱を作り、毎日收入の一端を共同で蓄めたものを皇軍へ恤兵金として差出した

▲金廿円　義州通一ノ一四西大門國民學校　四年生佐倉初子さん(一二)は兩親から頂戴した學用品代を節約したものを皇軍への恤兵金として差出した

▲慰問袋一個　渼洞國民學校四年四組生徒一同は僅かな小遣錢を節約して蓄めた金で調製した慰問袋をどうか兵隊さんに差上げて下さい〃と差出した

點呼日の辨當代を献金

實戰即應の意氣揚る點呼受檢者にこの心へ構あればこそと本町署兵事係を感激せしめた献金美談

鄕軍第九分會(分會長堀内鴨彥氏)會員全部は灼熱の艦錬にも怯まぬ訓練に銃後の歩を錬つてゐるが、點呼當時支給の辨當代全額七十二円を八日本町署に持參國防献金

職場に拾ふ
見た親切(1)

正直が大切〃心構へ
映畫館の

◇……映畫館は親切が生命だ、下足をとつた時代には客の下駄を預けに拂ひ忘れたといふあの氣持を生かしてこの月こそは力いつぱいの

◇……十日午前十時、開館前のひとゝきを利用して全從業員を階上ホールに集めた石橋豐總支配人はまづこんな風に説いてゐた

『親切とはオペツカを使ふことぢやない、日頃皆がやつてゐることを正直にやればいゝんだ、細かいことに氣を配つて映寫中にフイルムは切つてはならない、そしてけふ來た客は全部初めての客と思へ、以上申すことなし』

◇……訓戰ではあつたが、こんな『親切』の説明で一同宮城遙拜を濟まして懇ひ懇ひの持場へ……

『親切』で押し通さうといふ映畫館明治座の構へをのぞいてみる

『……だが出來さうで出來ないの

は映畫館のサービスです、つまり精神的に何か不足してゐますね』

これは偽らぬ石橋さんの告白だ【寫眞＝職場へ急ぐ前に先づ朝禮】

世はお手製時代

街の慰問袋

『ハイツ、寫しますよ』パチリとシヤツターを切つてお客さんの一服する間に二枚の組寫眞を手渡す瞬間、この時間十分間です

『一組僅か五十錢ですが一日二十組の客は樂ですご覽下さい、ボデーも三脚も私の手製ですが結構よく働いてくれますよ』と語る街頭寫眞屋さんの剛本さん、手摺れてぼろ〳〵の愛機を撫でる、利用更生の言葉がその寫眞機ににじみ出てゐる【寫眞＝お手製の愛機に氣焔をあげる街頭寫眞屋さん】

辯護士に合格

十七年度朝鮮辯護士試驗の志願者に對し七月二十八日から三十一日まで筆記試驗を施行したところ中六名合格しこれ等に對して更に九日口述試驗を行つた結果左記の六名全部合格した

岩村貞男、金田炳華、茂林聖照、清水正雄、光山勝一、梁原鐘本

城東署管内大掃除

城東署では十日午前九時から管内一齊に臨時清潔檢査を施行したさる五日の大雨によつて多くの浸水家屋を出した同方面ではことに便所、衣類、家具等の汚損した部分に對しては病疫豫防の立場から嚴重に消毒を施させた

親切運動の打合せ

十一日午後二時から府廳會議室で來る二十日から一週間開催の『親切運動』の實施方法について府内諸官廳、會社銀行、交通關係者五十名の參集をもとめ打合會開催

文化　魅力朝鮮(上)

小島善太郎（獨立美術協會委員）

京城に來て、朝鮮の踊りを初めて見た。といつても、それは正式のものでなく、座興に踊らせたのを見たに過ぎないから、これでは踊りを語る資格はないが、ただそれを見た時の印象が強く殘つた。

直線に立つた姿に踵まで水平に擧げた兩手を基準にして、鼓の音に切れよいリズムに合せ、わづかに手と頸と膝とで調子をとりつゝ動くといつたもので、内地の踊りとも踊りともつかぬ――強ひていへば神樂で見た一片の動作中に見られる――いはば単調な動きの連續に過ぎなかつた。それがどうして印象づけたかといふことである。

踊る役者が性格づけられた面を被つた場合、如何に表情をつけて舞ふかと云ふに、それを陰と陽とに分ける。陰とは顔を引いて面を暗くして舞ふ、これは悲しみを表すくして舞ふ、陽とは顔を出して面を明るくして舞ふことで、これは喜びを表はす。

僕の見た朝鮮のその踊りが先づ陽の姿であつたことである。それが直線形に稍波を打たせるだけで形をくづさぬ。踊りは動きを意味しながら野性な亂舞でなく、熱情にした直線にしを亂れず、ふかも知れない。しかし自分にはさうは考へられず、動をこゝまで鎮めた形の中に知性を考へ、單調に太さを感ひ、直線を波に浮かべ觀者の視覺を一點に集中させて、わづかの動きに踊りの心を掴み取らせようとする。その踊り自體の妙味に恍惚としたのである。

見樣によつては單調で、殊に西洋のに較べた場合、踊りに入らぬといふかも知れない。そこには寫實の表現もなければ、表情の説明もない。凡そ近代の踊りとは縁が遠いもので、餘りに原始的だといつて亂さず、鼓の陽と響くリズムにきびきびと合せて踊る姿を、美とも思ひ、直覺的とも考へ、男性的にも見え、感銘を知らぬ強さにも讀めるのであつた。

京日歌壇

吉井勇選

素砂　月俣重信
地圖にむき占領なせし島の名を指さしめて吾子に言はしむ
遂にわれ思ひしづまることなきか風にも凪ぎのあるが如くに

仁州　那須加代子
わが事にあらじと命くうそぶけど涙出づるは何のゆゑぞも

京城　澤畑二郎
ほの白き石に石工らうごめきてこの山峡に夕さらむとす

映畫ニュース

〃フイルムを大切に〃運動　文化、宣傳、啓發の諸分野に重要なる役割を果して欠くべからざる映畫用フイルムはその用の重要性に鑑み、特に國家から一定限度量製造の確保を期されてゐるが、これが貴重物資たるの所以を一般に周知せしめると共にその取扱者の注意を促す目的から映畫フイルム愛護運動を起し朝鮮興行聯合會、映畫配給社、映寫技術者協會が中心となり總督府、總力聯盟等の關係官廳と圖り來る廿五日から十日間をその強調週間として全鮮的に普及宣傳することゝなつた

◆推薦映畫普及會　總督府推薦映畫の榮譽を獲得した優秀映畫は既に本年度だけでも八作品を數へるが、此推薦映畫の普及徹底と、これに對する一般人の鑑賞眼を積極的に向上せしめんがため、近く社團法人朝鮮映畫配給社では本府および興行關係等の協力で府民館を會場に推薦映畫普及の會を開催する

えんげいだより

▼第一樂劇隊　各樂劇團の統合により近く旗擧げする合同樂劇團はこのほどその團體名稱を第一樂劇隊と改稱した

不連續線

鼻

あるところから、鼻についての原稿を頼まれてからは、人間の鼻ばかりが眼について、それ〴〵の鼻への説明や註釋をこじつけるのに骨が折れて、いまだに原稿は書けずにゐる。

無論、鼻にも表情はあり、性格もあることはわかるが、一概に片づけてしまへば、およそ鼻のやうに無愛想なものはないと思ふ。眉や眼や耳や口に比べると、ほんとにむつつり屋で、とりつく島のないのが鼻である。

但し、鼻の穴となると、これはなか〳〵百人百樣で、それ〴〵の個性を見出し得るから面白い。

愛の赤道【181】

竹田敏彦(作)　都竹伸一(繪)

表面の秘密(八)

『はア、まあ、兵隊に出て、戰死をしたと思つて、諦めてゐますよ。』

老人は、かういつて、佗しげなはつはつは』と笑ひに紛らした。

『いや、新聞紙上でも拜見しましたが、戰死に劣らない立派な御最期で……』

『まあ、それだけが、諦めでございますよ』

老人の顔は、心持か、強に潤んでくるやうに見えた。

『しかし、お孃さんも、どんなにか嘆きまだヘガキもまゐりませんので、何處に働いてゐるんですか……本人は、勿論、ダバオの方面へ出て、皆さんにもお目にかゝるのを樂しんでゐたでせうが……』

もう一度、同じ意味のことを繰返してみたが、依然として、佐智子の表情は、期待したやうに、和らいでこなかつた。

『これぢや、仕方がない……こんな樣子ぢや、千鶴子の噂など聞かなくつても、初めから大して、三郎のことなど氣にかけてゐないんだ』

恭輔は、やつと諦めて、暫し去る潮時を考へてゐたが、暫くして、『ちよつと失禮いたします……』

老人が、かういつて立上がつたと思ふと、廊下際ひに手洗ひの方へ出ていつた。

その時だつた。ちらと、それを見送つた佐智子の視線が、まともに恭輔の方へ移された。そして、『あの……』

何か、必死の面持で、口を開くと、

『大槻さんには、大へんお目出度いことがございましたさうで、一寸存じませんで、お祝ひも申上げませんで……』

にこり、口元を綻ばせた。しかしその冷かな笑ひは、すぐいびつに歪んできて、何か相手の心を刺すやうな、迫つた感情の喘ぎが迸つて見えた。恭輔は、はツと驚いて、

『はア、あの、三郎ですか……』

もしや、自分の結婚のことではないかとも思つて、咄嗟にとぼけた返事をしたが、そこへ、

『失禮いたしました』

老人が入つてきた。

『これは、どうしたことだ……』

恭輔は、さうした佐智子の様子に眼をみはると、心の中で、思はずにつぶやいた。――どうも、先達つてとは、すつかり樣子が違ふ。これぢや二郎の心遣ひなども、嬉しくも何とも思つてゐないらしい――まるで自分の想像に裏切られたやうな氣がして、態々この暇を目あてにこんな處まできた自分の觀察の甘さに腹られてゐたが、

『さういへば、兄さんは、いつ頃に出發になりました？』

老人が訪ねた。

『二月の末でございました。それ

(前回より)心配しましてね……皆さん――わけて、お懇しく願つてゐたあなたがたが、それほどの苦勞をなすつてゐられるのに、内地にゐて、全く相濟まないと申しまして、それは可哀想なほど、氣にかけてゐましたが、まあ、遲ればせながらも現地へ出られて、多少は心も休まつてゐるでせう』

かういつて、再び、佐智子の方を見たが、佐智子は、何の返答もせず、むつと顔を俯せてしまつた。

『二郎も、家にゐて、それ ばかりだけに、話の向け方に困りながら、民を探るべきか、老人も居合せるそこで、どういふ風に、この娘の心の表情も動かなかつた。恭輔は、したやうな、佐智子の方へ笑みかけたが、佐智子の顔には、何恭輔は、こんなことをいつて、したね』

新刊紹介

▲知的生活(伊與田円止著、五十錢)▲信仰の力(中原松堂著、五十錢)▲商業作法必携(能率文庫2、五十錢)▲禪之精神(中根環堂著、五十錢)▲禪の基本的性格(市川白弦、五十錢)(東京、小石川、春日町一丁目一、同文館出版部)▲若い人(八・九月號)故藤原朔太郎・佐藤惣之助追悼號、詩、文藝時報その他(四十五錢、東京・京橋・銀座二ノ三、若い人社)▲短歌研究(八月號)萬葉集輪講座談會、作品、その他(五十錢、東京・芝・新橋七丁目一二、改造社)

ラジオ　十一日

朝　▲六・三〇澤庵の禪と柳生の劍(一)伊藤康安『朗讀』宮本武藏の五輪書(一)▲八・〇〇『歌のけいこ』外山國彦▲九・〇〇『此の頃多い胃腸の病氣とその豫防』鹽谷卓爽▲一〇・〇〇『ムカシバナシ』ネズミノヨメイリ(一)池田忠夫▲一一・〇〇(城)初等理科『秤』の實際的取扱方武田巨

晝　〇・三〇フルート獨奏小松慶子バイオリン獨奏高玉枝▲一・〇〇『朗讀』綴方少年記(二)▲二・三〇『赤十字社の話』平松昌根

夜　▲六・〇〇『天空の勇兵第の冒險』津田榮ほか▲六・三〇(城)重なる我等の樂奉(鮮語)(平壤・大邱中繼)吳競善、夏の衛生(釜山)坂田浪重、青年に告ぐ(清津)池田二郎、銃後道民の奮起を望む(咸興)瀨戶道一、惡首稻熱病の防除に就いて(裡里)遠藤茂▲七・三〇(城)赴戰高原を往く(錄音付)▲八・〇〇長唄『落語』花色木棉柳家小さん▲九・〇〇(城)ラジオ紙芝居(鮮語)『起て一億』

京城日報 夕刊 一部 定價金二錢

北コーカサスの要衝 クラスノダール占領
獨軍、油田地帶を確保

【ベルリン九日同盟】獨軍司令部は九日獨軍が北コーカサスの要衝クラスノダールを占領した旨左の如く發表を行つた

空軍部隊との緊密なる協力のもとに獨歩兵部隊は燒くが如き炎熱を冒して猛進撃を續け強力に要塞化されたクーバン河北側の敵陣地を強行突破、遂にクラスノダール市を占領した、同市はクーバンの首都であり敵軍需工業の重要中心地である

【東京電話】クラスノダール市はクーバン河中流にある北コーカサス地方の重要都市でクーバン平原を包含するソ聯有數の穀產地方たるクラスノダール地方の中心地であり又交通の要衝である、同市はクーバン流域大農產地方に供給する農業機械製作トラクター製作および大食糧品工場製麻工業の中心地たるばかりでなく、大規模な精油工場があり、マイコープ油田の一部として附近より石油を產しかつ送油管も來てゐる、石油工業上から重要な都市である、人口約廿萬で、北コーカサス第一の大都會であり、かつ北コーカサス軍管區司令部の所在地として以前からも軍事上の要衝であつたが開戰後編成されたコズロフ中將を司令官とするコーカサス防衛軍も同市を中心として配置されてゐたものと見られ、マイコープ油田のみならず北方からする全コーカサス油田攻擊に對する防衛上極めて重要な軍事基地である

【ベルリン九日同盟】クーバン地帶の首都クラスノダールの陷落につき九日獨軍司令部は特別發表に引續き左の如き補足的發表を行つた

クラスノダールの占領は去る七月二十四日ロストフ、同二十六日バタイスク突入に參加し敵のドン河防衛線を崩壞せしめた部隊によつて行はれたものである、同部隊は實にドン河からクーバン河の線迄二百八十キロを敵を追つて一刻も休止することなくしかも炎熱と砂塵萬丈の中を不斷に戰鬪を交へつゝ十三日間で突破したのである、かくて激戰ののちクラスノダール前面の敵防衛線は突破せられさらに肥沃な黑土地帶の中心に位するクラスノダール市は占領せられたのである、しかして同市陷落の日、獨空軍もまた歩兵部隊と協力重要なる役割を果したのである

マイコープに突入

【ベルリン九日同盟】獨軍司令部九日夜の發表によれば獨機械化部隊は九日午後六時二十分マイコープ油田地帶の中心地マイコープ市に突入した

【東京電話】マイコープ油田地帶は北コーカサスの西南大コーカサス山脈の北麓タマン半島からベーラヤ河に至る廣大な面積を占めクバン黑海產油地帶と稱せられるものでその中心地をなすものがマイコープ、ネフチゴルスク、クラスノダールである、マイコープ油田は全く革命後に開發されたといつてもよい新興油田で一九三七年には百五十萬トン、一九三八年には二百二十萬トンと實に第一次歐洲戰當時の二十數倍の增加を示してをり、グローズヌイ、バクー兩油田が衰ろへ老齢に達してゐるといへるのに對し隆々たる發展を示し現在はグローズヌイ油田を凌駕してソ聯第二位にあるといはれる、同油田の油は主として送油管によつてツアプセ港に出してゐたが同地方の製油所も近年著しく整備されクラスノダール、ツアプセに大規模な精油工場があり、またノボロシースク、クラスノダールの發電所は重油を燃料としてゐる、しかしマイコープ油田がソ聯重工業において占める地位はバクー油田の壓倒的優位のために程大なるものとはいへず、全國產額において約八パーセントに過ぎず同油田の喪失はバクー產油の輸送路が遮斷されぬ限りソ聯の戰時石油需要に對し必ずしも大影響を與へるとはいへないが、油田が極めて新しいものであるだけにこれを獲得した場合獨軍の蒙る利益は少からぬものがあるといはねばならない、なほマイコープ市は人口七萬五千で石油製品のほかに手榴彈、爆彈、地雷、自動車部分品など軍需品製造工場ありまたマイコープ地帶は農業地區としても知られ玉蜀黍、穀物、棉花、煙草のほか羊、豚などを產出する

獨軍一齊に新攻勢

【ベルリン特電】（九日發）確實なる情報によれば同盟軍は目下ドン河屈曲部の戰況はソ聯軍があらゆる戰車、手榴彈の殆ど全部を集中しての大逆襲のためや、膠着狀態に陷つたかの如き感があつたが、最近に至り新段階に達しドイツ軍及び同盟軍は遂にソ聯軍の抵抗を擊破した模樣である、即ち獨伊同盟軍は全線に亘り一齊に新攻勢に出で、再び大包圍殲滅戰が進行してゐるものと見られ、サル河南方を北上募進中のドイツ、ルーマニヤ同盟軍と呼應しスターリングラード南正面地區にも獨軍フォン・ボック軍進擊の道が開かれつゝある

赤軍祕密命令書
"退却精神を一掃すべし"

【ベルリン八日同盟】獨軍司令部情報部長ウエツデル大佐は八日の獨外務省における外國新聞記者團との會見において最近獨軍がドン河およびコーカサス戰において手に入れた赤軍の祕密命令書を發表しセンセーションを捲起してゐる、右祕密命令書は本年七月廿八日モスコーにおいて作成されソ聯邦國防委員會議長スターリンの署名があり、赤軍の政治的、社會的內部を暴露したものとして興味深いが、その內容は大要次の如くである

ソ聯國民は赤軍の敗退に失望し信頼の念を失ひ赤軍の相次ぐ退却振りは國民大多數の非難の的となつてゐる、ウクライナ、白ロシヤ、バルト沿岸諸國およびドネツ盆地の喪失は極度にわが抗戰力を減退せしめ、今日吾人の有する人員、食糧、鑛物、工場などは極めて僅少のものといはざるを得ない、今日吾人は兵員においても食糧においても獨軍に一歩を讓るものである、さらに退却せんか、それは赤軍の決定的敗北である、銃後は決戰の苦しみをなめてゐる、一方獨軍の軍規は嚴正であり、上述の如き理由から赤軍司令部はつぎの諸條項を命令する

一、前線司令部は部隊から退却精神を一掃すべし、命令なしに陣地撤退を許すが如き長は直ちに免職とし軍法會議に附す、優秀に裝備された三乃至五個部隊を選し信頼確實ならざる師團の背後におき戰鬪意志を缺くもの又は逃亡せんとする赤兵を銃殺せしめる

一、命令なくして部下に陣地撤退を許した大隊長、聯隊長はその勳章を剝奪し免職のうへ軍法會議にかける

なほ上述の嚴酷なる條項を說明してスターリンはドイツの方法を眞似てゐるのみだと祕密命令書に述べてゐるが、この點に關しフォン・ウエツデル大佐は獨軍司令部を代表してかゝる苛酷なる手段は獨陸海空軍において斷じてとられたことがないと說明した

岡村最高指揮官青島視察

【北京九日同盟】岡村北支軍最高指揮官は六日午前九時西郊飛行場發青島に飛び七、八兩日に亘り最近における青島の經濟狀態を具さに視察し、九日午前十一時五十分西郊飛行場着歸還した

ソロモン海戰報 平出大佐放送

【東京電話】ソロモン海戰の大戰果は敵陣營の心膽を寒からしめると同時に帝國海軍の底知れぬ實力は世界を驚嘆せしめたが、海軍報道部課長平出大佐は十日午後七時半より十五分間エーケーのマイクを通じてソロモン海戰の詳細とその意義を放送、帝國海軍の赫々たる戰果を國民とともに讃へることになつた

飽迄現實論に立脚
戰時海運管理令の鮮內施行
最後的折衝ちかく開始

府行政の重要な一環として卅數年の歷史に立つた半島海事行政は海運の戰時的重大性に基いた統制の擴大に伴ひ事實上その幕を閉づるかどうかといふ最後の關頭に立つに到り、これを決する戰時海運管理令の鮮內施行をめぐる最高幹部間の最後的同問題妥結折衝が近く開始されることになつた

"我すでに讓るべきを讓れり、君又その偏見を捨てよ"との呼びかけで總督府側は最終案を持參、十日正午發にて日笠海事課長、野々部副事務官、同午後十一時十分發新貝遞信局長がそれぞれ先行出發東上、準備交涉を開始、田中政務總監の月央東上をまつて本折衝に入る豫定である

鮮側腹案は管理令に伴ふ運營會への供出船腹の限度、命令航路、對支航路、沿岸所要船腹量、運賃等の諸問題はじめ內外地海事行政一元化を期する勅令案についても大乘的見地に基いて一擧に解決、新な發足を期さうとする最終限度までを用意し、內地側との協調を企圖したものである、それは大局的な戰時海運の要請には飽く限り積極的な參加と寄與をなしつつ半島綜合行政の實と自主性をその中に活かさうとする現實論に基調がおかれてゐる

折衝成行注目さる
朝鮮貿易政策に成案

貿易營團の設置、その他廣域經濟圈の建設に伴ふ中央政府の交易對策強化政策に呼應し北方大陸の內地分身として起つ朝鮮の特殊使命に鑑み朝鮮貿易政策の全面的再檢討に要請せられ總督府においてかねて新情勢に即應する對策を研究中であつたがこのほど成案を得るに至つたので牧山商工課長が原案を携行、近く東上のうへ關係各方面と折衝を行ふことゝなつた、中央との折衝要點は

一、內地においては朝鮮を貿易營團內に包含せしめたき希望を有してゐるが、加入如何の問題

二、加入せざる場合の朝鮮の行き方如何

にあるが、加入、非加入に拘らず朝鮮としては円域貿易內の円滑なる物資交流の確保を圖るため對滿洲關係においては貿易調整料制度の創設、支那調整料の引上が主要な要案として考慮されることは當然で、成行は頗る注目される

中華航空に表彰狀授與

【廣東九日同盟】南支軍では中華航空會社廣東營業所が大東亞戰勃發とともに香港攻略戰に挺身協力した功勞にかんがみ八日司令部において大東亞戰下最初の民間航空表彰式を擧行、南支軍最高指揮官から同社代表柴田副男氏に表彰狀を授與した

檢擧すでに三百名
空前の大彈壓の手伸ぶ

【バンコツク特電】（九日發）イギリス政廳の會議派に對する檢擧の手は更に擴大中で九日ボンベイ情報によれば全印各州における國民會議派指導者にして檢擧されたものはすでに三百名を突破するといはれ一九三〇年以來空前の大彈壓が實現されつゝある

ガンヂー從容たり 逮捕狀況

【リスボン九日同盟】ボンベイ情報はガンヂー翁その他國民會議派領袖の逮捕狀況を左の如く報じてゐる

二臺の自動車に分乘した警官隊は九日午前五時ガンヂーの宿舍たるビーラ・ハウスを襲ひ、門衛を案內として邸內に侵入、折から祈禱中のガンヂー翁、ミラベン、秘書スレード女史、マハデブ・デサイはじめ國民會議派領袖に對し直ちに出頭の用意を命じたが、ガンヂー翁は約三十分にわたり祈禱を續けたのち從容として警官隊に拘引されて行つた、この朝警察當局は午前二時以後一切の電話連絡を遮斷してゐたため一般には檢擧の事實は知られず全く奇襲的檢擧であつた、ガンヂーの拘引後、第二秘書ピヤレラルは拘引される際ガンヂー翁が次の如き傳言を殘して行つたと發表した

余は今朝勞働者に會見することになつてゐたがもうそれも出來なくなつた、彼らにわれらの行く道は自由か死あるのみであるとのスローガンを忘れないやう傳へてくれ、なほガンヂー夫人は警察當局の取調べに當つて『夫に代つて演說するつもりであるか』との質問に對し『その決意である』と答へたため遂に逮捕監禁されることゝなつた、一方アザツト議長は午前四時半同樣警官隊に襲込みを襲はれ三十分のち拘引されて行つたが、九日午後五時まで逮捕されたものは會議派運用委員會員前ボンベイ州首相ビージー・カリおよび女子義勇軍團長ソフイア・カーン女史ら百四十九名の多數に上つてゐる

アガ・カーン宮の警戒嚴重

【リスボン九日同盟】英官憲に逮捕されたガンヂー翁ならびにサロジニ・ナイヅ女史、秘書デサイおよびスレード兩女史は目下プーナからアーマドナガルに至る道路に沿ふアガ・カーン宮殿に收容されてゐるがこの宮殿は最近印度政廳が回教イスマイル派の導師アガ・カーンから借りたもので周圍をかこむ垣根の諸所には特別警官隊が嚴重な警戒の眼を光らせてゐる、一方前ボンベイ新首相および四名の婦人を含む四十名の國民會議派領袖はボンベイからエラワデに護送され、同地中央監獄に收容された

交涉には應ぜず
印度政廳の態度强硬

【チューリッヒ特電】（八日發）ニューデリー來電によれば印度政廳は八日會議派の要求を基礎とする交涉には絕對に應じ難い旨の强硬態度を聲明した、これによつて會議派と英側の折衝餘地は全く絕望化した

要求貫徹せよ
わが權威筋 印度の奮起期待

【東京電話】九日入電の外電情報によれば全印國民會議派委員會は『イギリスの印度即時撤退決議案』につき討議の結果、果然わづか十三票の反對を除き壓倒的多數の贊成投票をもつて同案を採擇したと報じてゐる、右に關し帝國政府としてはまだ確報を得てゐないので正式見解の發表を避けてゐるが一部權威筋においては大略次の如き見解のもとに印度の完全獨立、大東亞共榮圈の一環としての奮起を期待してゐる、すなはち

全印國民會議派は英國をして即時同案を承認せしめるものと報ぜられる如く單に英國政治勢力のみの撤退では決して完全なる獨立とはいひ難くこの際政治的軍事的一切の撤退要求を貫徹すべきである、もし英國が印度獨立案の承認を遲延し、あるひは切崩しの策謀工作をなし、乃至は彈壓を加へる如きことあればこれはアングロサクソン傳統の老獪殘忍なる本性を暴露するもので印度民衆は斷乎としてこれと戰ふべきである、しかして我々としては重大なる關心をもつてその成行を監視してゐる

カリー米特使ニューデリー着

【リスボン九日同盟】ロイター通信ニューデリー電によれば七月はじめ以來重慶訪問中であるルーズベルトの特使カリーは九日空路ニューデリーに到着した

ス參謀長も

【リスボン九日同盟】ニューデリー電によれば反樞軸聯合軍支那方面參謀長スチルウエルは九日朝ルーズベルトの特使カリーと相前後して空路重慶よりニューデリーに到着した

なほカリーは數日印度に滯在のうへ歸米の途につくはず

礒谷香港總督 在住印度人激勵

【香港九日同盟】香港在住印度人は九日ボンベイ會議に呼應し大會を開き決議を行ひ氣勢をあげたが礒谷總督は同大會へ次の如き祝辭を送りこれを激勵した

本日茲に全アジヤ民族怨恨の地たりし香港において歷史的印度獨立の逞しき雄叫びを聞く誠に世界史に特筆すべく、またその意義眞に重大といひ得べく、今こそ歷史と光輝ある文化の傳統を有する印度民族は敢然として蹶起し一丸となり、敢然として蹶起しイギリスの桎梏より脫却、眞に印度人の新印度を建設すべき絕好にして絕無の機會なり、幸ひに諸君の努力による大印度愛國の士深くこれを思ひ、着々準備を進め今や全東亞印度人は統制ある指導の下に一貫せる運動を展開せんとす、本職深くこれを喜び各位に對し敬意を表するとともに印度人の大印度建設に滿腔の支援を與へ以て諸君の愛國的努力に應へんとす、奴隸下にある印度人を救出せざるは啻に諸君の恥辱たるのみならずまさに大アジヤ民族共通の屈辱なり、香港全印度人は現下に展開するこの好機を捉へ一丸となり大東亞民族の共敵イギリス帝國の撲滅を期し大印度完全獨立のため邁進奮鬪すべき時なり

無條件撤退こそ印度解放への鍵

【東京電話】全世界の注目を集めて七日ボンベイで開催された國民會議派全印委員會は二日間にわたり白熱的討論を續けた結果つひに八日にいたり絕對多數をもつて英國勢力の即時印度撤退を要求する決議案を通過した、さる三月クリツプスの對印交涉が脆くも失敗に歸して以來英國は懷柔、恫喝、切崩し、さては米ソ重慶などの第三國までを動員して英印關係打開に必死の努力を續けて來たのであるがガンヂー、ネールらを中心とする國民會議派の內部的結束は意外に固く形勢は英國にとつてますます不利に展開し、つひに今日の結果をみるに至つたのである

ことに英國は全印委員會開催の直前ガンヂー起草の對日交涉案なるものを歪曲して發表したのであるが、それはかへつて印度側の對英不信の感情を昂からしめる逆効果を奏し英印關係の惡化に拍車を加へる結果となつた、かくて大東亞戰爭勃發以來八ヶ月にわたる英國の對印工作は今や完全に失敗に歸し兩者の正面衝突は不可避の形勢となつたのである、こゝ數日來形勢の非なるを確認した英國は早くも食糧取扱店その他に罷市令を發して國民會議派の不服從運動に備へるところがあり、八日にはつひに先手をうつてガンヂー、ネール、アザツトの三巨頭を一擧に逮捕するの暴擧に出たと報ぜられるが、國民會議派としてはこれら巨頭の逮捕にもかゝはらず一層熾烈な反英抗爭を開始するものとみられ、かゝる英國の暴擧はおそらく全印度人を極度に憤激させるに充分であつて今後の事態の發展は大いに刮目すべきものがあらう

しかしながらこの際注意しなければならぬことは現下の內外情勢に照應し英國側は一方において彈壓政策を強行しながらも他面得意の謀略をもつて全印度人の懷柔切崩しを執拗に續行するであらうといふことである、印度人が謀略に乘ぜられて中途で軟化するが如きことは自由印度を獲得するうへにおいて斷じて戒められねばならない、さらに注意せねばならぬ點は今回の國民會議派の決議が英國政治勢力の印度撤退を求めてゐないことである、最惡の場合、英國はこの點に乘ずる虞れがあるのであつて國民會議派としては英國が今日會議派の決議を拒否した以上、該條件を斷然撤回して白紙に還り英國の無條件撤退を迫るべきである、この點はさきに谷萩陸軍報道部長が指摘した如く日本としても嚴重監視を要するところで、印度の解放が成就するや否やは一に國民會議派がかゝる妥協的な態度を抛棄し得るや否やにかゝつてゐるといひ得るであらう

會議派運動から回教徒離脱

【リスボン九日同盟】ロイター通信ボンベイ來電＝印度回教徒聯盟總裁ジンナーは九日回教徒に對し回教徒聯盟の運用委員會が八月十

江山南方（浙贛）に新作戰
斷末魔の敵に最後の止め

【浙江〇〇基地十日同盟】七月二十九日衢州を突破、松陽方面作戰を展開し、第三戰區主力の殲滅に一大鐵槌を下したわが新鋭〇〇部隊は五日またもや浙贛線江山南方地區に新行動を開始し斷末魔の敵に最後の止めを刺すべく破竹の進擊を開始した、すなはちこの方面の敵はわが軍が今次浙贛作戰に際し果敢の進擊をもつて一氣に江山、玉山、廣豐方面に進出するや仙霞嶺附近に一時的陣地を構築、陣を張りつゝあつたが、わが軍の猛擊にやうやく失望の色濃く、遂に各部隊はこの機を逸さず一大追擊作戰を展開仙霞嶺楓嶺關系の峻を突破して快進擊を續行中である

心を緊めて笑顔ですゝめ

晴の録音

海戰の捷報再び至る。×

見敵必殺、完璧の我が海の荒鷲。×

米英艦ノ子艦隊のつひに現はれたのが運のつき。×

對日蠢動の最後の夢破れては速かに太平洋を斷念するまだ。×

全印委員會に英勢力撤退決議を通過するや、果然三巨頭逮捕さる。×

指導者を失つても、その指導精神は民衆の胸に脈々と生きてゐる。×

英に印度四億の民衆を逮捕監禁する勇氣ありや。×

恐れず、屈せず、初志を貫け。